



7/1 ふれあい福祉運動会 7/4 寺井中学校福祉体験授業 7/11 寺井地区シルバーオリンピック 7/15 西日本豪雨災害募金活動



7/15 米寿祝い 7/16 佐々木はじめ国政報告会 7/18 三道山町いきいきサロン市政報告&懇談会



7/19 田中さくじろう後援会懇親会 7/21 中学生ボランティア体験 7/21 小松工業同窓会総会



7/28 中学生意見発表大会 7/28 湯谷町夏祭り 7/29 末寺町夏祭り



7/30 寺井中学生と施設ボランティア 8/8 市トランポリン協会市長訪問 8/11 粟生じょんがらおどり



8/12 輪島市県体トランポリン競技 8/24 石子町いきいきサロン 8/26 能美市防災フェア



9/1 男女共同参画推進フォーラム 9/2 能美市敬老会 9/19 粟生小学校福祉体験授業 9/23 施設ボランティア 9/30 粟生防災講演



# 絆 さすな ~能美市政報告~

市政を語る会開催！ (1p)  
西日本豪雨災害ボランティア (2p)

9月議会 一般質問 (2p~3p)

- 自主防災組織の強化・連携を問う
- 災害ボランティアセンター活用方法の周知を
- 能美東西連絡道路に愛称を
- フードバンクとフードドライブの取り組みについて

8月18日(土) 市政を語る会を開催しました！



佐々木 紀 衆議院議員・宮本 周司 参議院議員・井出 敏朗 能美市長が、それぞれの立場より能美市政についてご講話され、岡田直樹参議院議員・山田修路参議院議員の秘書様も出席されメッセージを披露頂きました。

田中策次郎も市政への思いと取り組みをお話させて頂きました。その後の意見交換会ではご臨席の方々と参加者が交流を深める場となりました。今後も市民が政治を身近に感じられるような活動を行っていきます。

たくさんの方々にお越し頂きありがとうございました！



●自主防災組織の強化・連携を問う

災害から町民の命を守るのは町会の自主防災組織の役割だと言われています。能美市内では色々と進んだ取り組みを行っている自主防災組織があります。これらの情報を共有化し、自分たちの町会に取り入れられるような仕組み作りが出来ないか。自主防災組織が地域防災力を向上させ、責任を持って対応することにより、そこから不足する部分を行政が補うという両輪型の防災体制が出来上がり市民の命が守られると考えます。●災害時に町民の命を守る自主防災組織の役割の理解と、各町の自主防災組織同士の情報共有や連携が出来ないか

答 吉光 年治 総務部長

ひとたび大規模な災害が発生したとき、国県市の対応だけでは限界があり、自分の身は自分で守る自助と共に、隣近所が協力し合い防災活動に取り組む共助が、被害軽減を図るうえで重要であるという自主防災組織の役割を各町会町内会の皆さんに理解を頂きたい。今後、先進的な取り組み事例を紹介できる勉強会の機会を設け、自主防災組織が相互に情報を共有できる環境整備を検討し市全体に波及させ防災力の向上をはかりたい。



●災害ボランティアセンター活用方法の周知を

岡山県真備町で西日本豪雨災害ボランティア活動を行った時に、地元の高齢の方から「どこに言えば来てもらえるの?」「どんな申込みがあるの?」と、被災者の中で支援情報が届いていない方が多く見られました。災害が起こる前に災害ボランティアセンターの役割や利用方法を市民にしっかりと伝えていく事が、発災後に素早い復興活動に移る「災害に強いまちづくり」になると考えます。災害ボランティアを活発に利用している町は、町会単位で災害ボランティアの要望をまとめセンターに申し込んだり、町会が現地スタッフとして依頼者宅への道案内や依頼者の作業情報提供も行っており、町会の協力が大変重要となっていました。●「災害発生後も強いまちづくり」にするため、平時に市民へ災害ボランティアセンターの役割と活用方法の周知を行うべき

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

市では災害対策本部が災害発生後に災害ボランティアセンターの設置判断を行い、市社会福祉協議会に運営を依頼し設置することになっている。今後は、町会・町内会長会や民生委員児童委員協議会定例会などを通して災害ボランティアセンターの役割や災害時の利用方法について周知を行う。災害時における高齢者など情報が伝わりにくい方へはポスターやチラシの配布や地域での声掛けが重要と考え対応したい。



7月22日～24日に岡山県真備町に豪雨災害ボランティアに行ってきました



屋内の泥出し作業や、災害廃棄物の搬出運搬を行いました 前列の高齢の方はボランティアセンターを知らず連日の作業の疲労で入院していた



災害廃棄物の中に洪水マップが… 町中に災害廃棄物の山が 猛暑のため活動は午後2時までに制限されました

災害ボランティアセンター活用方法の周知と地域での役割を知る事が迅速な復興へつながります



出発前 説明 作業要望受入れ・地図係 洗浄ボランティア 冷タオルを渡す係 飲料を渡す係

●フードバンクとフードドライブの取り組みについて

フードバンクとは食品メーカーなどで品質には問題がなく、包装不備などで市場での流通が困難になり、商品価値を失い廃棄される食品を無償で受け、福祉施設や生活困窮者に供給し、食品廃棄物の発生を抑え、福祉貢献にもつながる活動です。またフードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

いま能美市では「能美子ども食堂ネットワーク」が立ち上がり子ども食堂が行われています。この子ども食堂でも食材をフードドライブ的に家庭からの寄付と、市内農業者や商店からの協力で食材を集めています。このような活動の支援にも大変有効だと考えます。個人では食材の管理や、集まり過ぎた場合の福祉利用にも難しい面もあります。●市では食品廃棄物の減量と再利用からフードバンクやフードドライブを行う予定はあるか、また福祉的受け入れ先は市内にあるのか

答 井出 敏朗 市長

フードバンクやフードドライブについては、十分に食べられる食品が流通や消費に回らない現在の仕組みや風潮は何らかの手段で改善されるべきだと思う。最近では市において地域交流や子どもを見守る場としての子ども食堂が広まりを見せており、社会福祉協議会がコーディネーター役となり食品の受付窓口の一翼を担っている。県内の事例を参考に「能美市ならではの」のフードバンクやフードドライブの活動ができないか今後検討する。



●能美東西連絡道路に愛称を

以前、小学校の福祉体験授業で寺井小学校から図書館までを児童に車椅子で走行体験してもらったことがあります。郵便局や銀行、八百屋さん肉屋さんの前の歩道を走行しましたが、まず車椅子では走行できない歩道であり、高齢者も歩くのが難しい凹凸な場所や段差が多い歩道で、子ども達に「身体の不自由な方には優しくないね」と話した事を覚えています。寺井町のたくさんの商店が並ぶ中心地であり、早く高齢者や障がいのある方の歩きやすい歩道が完備された道路が延伸される事を待ち望んでおります。

この能美東西連絡道路と言う名称ですが少々硬いと感じます。寺井地区の方々が愛着を持って大切に守り使えるよう●寺井地区中心部の道路区間を地域の方で新しい愛称を考え名付ける事はできないか。

答 朝本 仁志 産業建設部長

現在整備中の寺井図書館前は旧北陸鉄道能美線の本寺井駅があった場所であり、地域住民にとって愛着のある区間だと思う。車道の両側に2.5メートルの歩道を整備し高齢者や体の不自由な方にも優しい仕様となっており、無電柱化も行い景観にも配慮した整備内容となっている。寺井地区の皆様は寺井まちなか区間について愛称をつけて戴く事は、道路の愛護、普及や地域の活性化などにつながると考える。



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

連絡先記載の無いご意見は返信が出来ません、ご返答希望の方は連絡先をお忘れないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町 16-2  
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209  
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net



日頃の活動もご覧ください

